

千葉県 地域学校協働活動ボランティアだより

第21号 地域学校協働本部「地域未来塾」

2021年2月9日 発行：千葉県地域学校協働活動推進委員会



千葉県教育委員会では、地域と学校がパートナーとなり、地域全体で子供の成長を支え、地域を創生する「地域学校協働活動」を推進しています。今回は「地域未来塾」と『地域学校協働活動推進』に係る文部科学大臣表彰」を特集していきます。

「地域未来塾」～地域連携のススメ～

地域未来塾とは？

中学生等を対象とした、教員OBや大学生など地域住民等の協力による原則無料の学習支援です。



「茂原市」の取組紹介！

<令和2年度>

対象：全茂原市立中学校在籍3年生（6中学校 673名）

教科：数学

会場：茂原市中央公民館及び茂原市本納公民館

実施期間：令和2年10月3日～令和3年2月20日

毎週土曜日：午前10時～午前12時

登録生徒：22名

登録講師：7名（元教員、学習支援員、一般ボランティア）



参加者の声(令和元年度)

- ・地域未来塾は皆さんが優しく面白い方が多く、教えるのもすごく上手でした。毎週来るのが楽しみで、来るたび数学の楽しさ、おもしろさがわかりました。受験合格をするまでみていただきありがとうございました。
- ・最後の計算問題は分かりやすくて良かったです。
- ・数学の成績が上がりました。本当にありがとうございました。



「地域学校協働活動」についてもっと知りたい方は
(文部科学省・厚生労働省合同ホームページ)
<http://manabi-mirai.mext.go.jp>

学びの未来 で検索

「地域学校協働活動」推進にかかる 文部科学大臣表彰について

この表彰は、幅広い地域住民等の参画により、地域全体で未来を担う子供たちの成長を支え、地域を創生する活動（地域学校協働活動）のうち、その内容が他の模範と認められる取組に対し、文部科学大臣が表彰を行うものです。

令和2年度に受賞された3つの活動を御紹介します。

多古高等学校学校運営協議会（県立高校）



高校の魅力アップで存続をめざす。 ～地域で支えるコミュニティスクール～

「生徒指導プロジェクト」の主たる活動は、「朝のあいさつ運動」である。生徒が登校する日は、毎朝行っている。委員だけでなく地域の方や町役場の職員が参加してくださり、あいさつや生徒一人一人に応じた声かけ等が行われている。「朝のあいさつ運動」は、生徒が登校する8時から8時40分まで、毎日校門近くで行われる。元本校職員や元CS委員であった地元の方がボランティアで毎朝参加している。（推薦書より）※CS=コミュニティスクール



＜あいさつ運動の風景＞

Firstnik☆ふあ～すとにいく☆（市川市）

夏祭りで“つなぐ” 地域の子どものために！

「こうのとり祭り」を継続開催する中で、個別の団体同士がつながりを強めていった。統括的な地域学校協働活動推進員を中心に、地域のネットワーク化が図られている。第一中学校で毎年行っている「職場体験」の受け入れ先等を教諭に代わり推進員が担うようになってから、新規の受け入れ先が増え、約200人の生徒が豊かな体験学習を行うことができています。（推薦書より）



＜こうのとりまつりの様子＞

布佐中学校区地域学校協働本部（我孫子市）

子どもたちの豊かな学びを様々な形で地域がサポート —学習習慣の定着や授業支援から生涯学習の基礎づくりまで—

30数年前より始まった中学校のクラブ活動（茶道・華道・書道・琴・三味線・郷土芸能・柔道等）の地域住民講師による活動を母体として、児童生徒の学びに合わせて学校支援ボランティア活動も多様化し、地域学校協働活動へと発展してきた。また、平成26年度から総合的な学習の時間の小中一貫カリキュラム「郷土学習・ふさカリキュラム」も実施された。（推薦書より）



＜地元住民の指導による琴体験＞